



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月28日

上場会社名 野崎印刷紙業株式会社
 コード番号 7919 URL <https://www.nozakiinsatu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 仲本 和宏
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-441-6965

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 6,354 | 0.6 | 118 | | 136 | | 88 | |
| 2022年3月期第2四半期 | 6,313 | 3.7 | 54 | | 53 | | 111 | |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 96百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 106百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 5.14 | |
| 2022年3月期第2四半期 | 6.51 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 10,175 | 3,588 | 33.4 | 198.41 |
| 2022年3月期 | 10,203 | 3,527 | 32.8 | 195.05 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,408百万円 2022年3月期 3,350百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 0.00 | | 2.00 | 2.00 |
| 2023年3月期 | | 0.00 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 13,700 | 4.7 | 239 | 79.5 | 265 | 84.8 | 155 | | 9.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期2Q | 21,460,000 株 | 2022年3月期 | 21,460,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 4,281,700 株 | 2022年3月期 | 4,281,687 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期2Q | 17,178,304 株 | 2022年3月期2Q | 17,178,826 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (追加情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、行動制限の緩和により景気は緩やかな回復基調となり、経済活動の正常化に向けた動きが見られましたが、資源・エネルギー価格の高騰や為替市場での急激な円安の進行により、原材料価格の上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、デジタル化による情報メディアとしての紙媒体の需要の低下が進み販売が減少した部門もありましたが、人流抑制の緩和による需要の増加などにより受注が増えた部門もあり、売上高は微増で推移いたしました。収益面におきましては、原材料価格・エネルギー価格の高騰に伴い販売価格の修正を行ったことや、生産部門での効率化を進めたことなどにより、売上総利益が改善されたことに加え、業務プロセスのデジタル化、省エネルギー化などを推進した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも改善いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は63億54百万円（前年同期比0.6%増）となり、営業利益は1億18百万円（前年同期は54百万円の営業損失）、経常利益は1億36百万円（前年同期は53百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、88百万円（前年同期は1億11百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、印刷事業セグメントのみであるため、事業部門別の売上概況を示せば、次のとおりであります。また、利益については管理上、部門別には把握しておりません。

①商業印刷部門

当部門のカタログ・パンフレット類の商業印刷は、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により中止、延期あるいは規模縮小をしていたイベント・展示会等の開催が、人流抑制の緩和により活発化し需要は増加傾向にありますが、価格競争による受注の減少などにより、この部門全体の売上高は4億65百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

②包装資材及び紙器、紙工品部門

当部門の伝票類は、ペーパーレス化の影響によるビジネスフォームの需要が減少したことや、販売価格の選別をしたことなどにより需要が減少いたしました。紙器は、物流業や食品メーカー等の回復基調による需要の増加などからの受注が堅調に推移いたしました。また、行動制限の緩和効果が寄与したことなどにより、流通業界、小売業界等の包装紙、紙袋類の需要に好転の兆しが見られるなど、この部門全体の売上高は34億81百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

③情報機器及びサプライ品部門

当部門のタグ・ラベルは、工業系製造業、食品流通業界、物流業等の回復基調により需要が増加いたしました。情報機器類におきましては、世界的な半導体不足や電子部品の調達が困難な状況が依然として続いており、プリンター類を中心に生産に遅れが生じているものの需要は堅調で、特に小型プリンターの販売が順調に推移しており、この部門全体の売上高は21億1百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

④その他の部門

当部門の化成品は、新型コロナウイルス感染症対応の衛生関連商品などが、供給過多の影響により減少いたしました。また、需給バランスの変化に伴う価格改定の影響などもあり、この部門全体の売上高は3億5百万円（前年同期比32.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少の101億75百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加の47億88百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が1億46百万円減少したものの、現金及び預金が1億84百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円減少の53億87百万円となりました。これは機械装置及び運搬具が1億25百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ89百万円減少の65億86百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加の35億88百万円となりました。

これらの結果、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べ3円36銭増加の198円41銭となり、自己資本比率は33.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は13億89百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億84百万円増加しております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、2億61百万円(前年同四半期は3億34百万円の増加)となりました。これは仕入債務の減少2億81百万円等資金が減少したものの、減価償却費3億36百万円、売上債権の減少1億73百万円等資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、88百万円(前年同四半期は2億44百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、11百万円(前年同四半期は1億85百万円の増加)となりました。これは長期借入金の返済3億1百万円等資金が減少したものの、長期借入れにより2億円、短期借入金の純増1億50百万円等資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、2022年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,204,763 | 1,389,631 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,048,383 | 1,902,234 |
| 電子記録債権 | 241,990 | 267,709 |
| 商品及び製品 | 672,249 | 707,981 |
| 仕掛品 | 214,860 | 249,615 |
| 原材料 | 211,089 | 219,047 |
| その他 | 48,117 | 54,159 |
| 貸倒引当金 | △1,588 | △1,975 |
| 流動資産合計 | 4,639,867 | 4,788,403 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,589,076 | 1,538,979 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,775,720 | 1,650,475 |
| 土地 | 1,565,913 | 1,565,913 |
| 建設仮勘定 | 2,464 | 5,455 |
| その他(純額) | 144,426 | 126,908 |
| 有形固定資産合計 | 5,077,600 | 4,887,731 |
| 無形固定資産 | 19,057 | 18,971 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 273,427 | 280,294 |
| その他 | 195,559 | 201,951 |
| 貸倒引当金 | △1,802 | △1,853 |
| 投資その他の資産合計 | 467,184 | 480,392 |
| 固定資産合計 | 5,563,843 | 5,387,095 |
| 資産合計 | 10,203,710 | 10,175,498 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,031,897 | 1,044,519 |
| 電子記録債務 | 2,565,301 | 2,282,107 |
| 短期借入金 | 1,152,000 | 1,332,000 |
| 未払法人税等 | 67,873 | 52,875 |
| 賞与引当金 | 86,326 | 103,252 |
| その他 | 342,421 | 483,304 |
| 流動負債合計 | 5,245,820 | 5,298,059 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,236,500 | 1,105,500 |
| 退職給付に係る負債 | 7,242 | 7,422 |
| その他 | 186,683 | 175,915 |
| 固定負債合計 | 1,430,426 | 1,288,838 |
| 負債合計 | 6,676,246 | 6,586,897 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,570,846 | 1,570,846 |
| 資本剰余金 | 799,814 | 799,814 |
| 利益剰余金 | 1,865,395 | 1,919,575 |
| 自己株式 | △939,871 | △939,872 |
| 株主資本合計 | 3,296,184 | 3,350,362 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 54,487 | 58,015 |
| その他の包括利益累計額合計 | 54,487 | 58,015 |
| 非支配株主持分 | 176,791 | 180,222 |
| 純資産合計 | 3,527,463 | 3,588,601 |
| 負債純資産合計 | 10,203,710 | 10,175,498 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 6,313,752 | 6,354,274 |
| 売上原価 | 5,344,623 | 5,243,772 |
| 売上総利益 | 969,128 | 1,110,501 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,023,694 | 991,696 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △54,565 | 118,805 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 2,186 | 2,411 |
| 不動産賃貸料 | 3,503 | 18,906 |
| その他 | 5,088 | 3,884 |
| 営業外収益合計 | 10,778 | 25,202 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,683 | 3,337 |
| 手形売却損 | 1,099 | 909 |
| 休止固定資産減価償却費 | 4,569 | 2,582 |
| その他 | 299 | 367 |
| 営業外費用合計 | 9,652 | 7,197 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △53,438 | 136,810 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 679 | - |
| 特別利益合計 | 679 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 26,656 | 1,154 |
| 災害による損失 | 7,584 | - |
| 特別損失合計 | 34,240 | 1,154 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △86,999 | 135,656 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 26,493 | 37,844 |
| 法人税等調整額 | △2,335 | 4,532 |
| 法人税等合計 | 24,158 | 42,377 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △111,157 | 93,279 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 804 | 4,901 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △111,962 | 88,378 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △111,157 | 93,279 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,203 | 3,528 |
| その他の包括利益合計 | 4,203 | 3,528 |
| 四半期包括利益 | △106,954 | 96,807 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △107,759 | 91,906 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 804 | 4,901 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △86,999 | 135,656 |
| 減価償却費 | 346,973 | 336,397 |
| 災害による損失 | 7,584 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 454 | 437 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 43,200 | 16,926 |
| 契約負債の増減額(△は減少) | 13,069 | 10,709 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 212 | 179 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,186 | △2,696 |
| 支払利息 | 3,683 | 3,337 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | 25,976 | 1,154 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 339,499 | 173,692 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △82,945 | △78,445 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △174,213 | △281,220 |
| その他 | △67,536 | △9,599 |
| 小計 | 366,771 | 306,529 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,184 | 2,696 |
| 利息の支払額 | △3,374 | △2,959 |
| 災害による損失の支払額 | △7,584 | — |
| 法人税等の支払額 | △23,493 | △44,823 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 334,503 | 261,442 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △219,235 | △75,428 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 680 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,900 | △3,950 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,741 | △1,787 |
| 保険積立金の積立による支出 | △6,561 | △6,561 |
| その他 | △14,687 | △329 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △244,446 | △88,056 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 300,000 | 150,000 |
| 長期借入れによる収入 | 200,000 | 200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △277,250 | △301,000 |
| リース債務の返済による支出 | △2,279 | △2,165 |
| 自己株式の取得による支出 | △38 | △1 |
| 配当金の支払額 | △34,161 | △33,881 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △1,144 | △1,470 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 185,126 | 11,482 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 275,183 | 184,867 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,046,547 | 1,204,763 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,321,731 | 1,389,631 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の影響に関して、当社グループは現時点では、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しておりますが、足元の経営成績に影響が生じております。本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当第2四半期連結会計期間末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえて、今後、当連結会計年度にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。